

11 月定例記者会見 市長あいさつ

皆さま、こんにちは。

11月も後半に差し掛かりまして、朝晩の冷え込みが一段と厳しくなりました。本格的な冬に近づいて参ったところだと思います。

市内各所では、「文化祭」や「とりで産業まつり」、「サイクルアートフェスティバル」など、文化や芸術などの数多くのイベントが開催され、多くの市民の皆さまにも参加をいただいたところでございます。

サイクルアートフェスティバルにおいては、昨年を上回る9,500人もの多くのお客様にご来場いただきました。

これらのイベントは、市民の皆さま同士の交流を深めるとともに、地域の活性化に寄与するものとなっております。

各種イベントの開催に関わる関係者の皆さまのご尽力をはじめ、日頃からご理解とご協力いただいております皆様方に、あらためて、心から御礼を申し上げます。

それでは、本日の発表事項に移ります。

はじめに、「令和7年第4回取手市議会定例会議案」につ

いてです。

会期は、12月2日 火曜日からの予定となります。

定例会に提出する議案は、条例の制定が1件、条例の一部改正が11件、市道路線の認定が1件、指定管理者の指定が8件、令和7年度補正予算が3件のほか、損害賠償・和解の専決処分の承認が1件の計25件を提案いたします。

まず、条例の制定については、令和6年6月に成立した子ども・子育て支援法等の一部を改正する法律により、創設された乳児等通園支援事業「こども誰でも通園制度」の運用を令和8年度から開始するにあたり、特定乳児等通園支援事業者に係る市長の確認基準について規定するものであります。

条例の一部改正の主な案件は、国の法改正などを踏まえ、市においても所要の措置を講ずるため改正を行うものや、令和8年2月からスマホ市役所の本格的な運用を開始するに当たり、必要な規定の整備を行うため、関係条例の一部を改正するものなどがございます。

次に、令和7年度取手市一般会計補正予算第5号についてご説明いたします。

一般会計補正予算第5号の総額は、5億7,513万5千円の増額で、補正後の予算総額は、530億5,282

万7千円となります。

歳出予算の主な補正内容は、2点ございます。

1点目は、扶助費の増額です。

障害福祉サービスの実利用者数の増加により障害者自立支援給付費を3億1,040万円の増額、児童発達支援や放課後等デイサービス利用者数の増加により障害児通所給付費を1億500万円の増額、また、生活保護受給世帯数や受給人数の増加により生活保護費を5,000万円増額いたします。

2点目は、文部科学省の策定した「学校のICT環境整備3か年計画」において、小中学校の特別教室用の電子黒板等の大型提示装置を整備することが盛り込まれたため、市内小中学校20校に各校6台の電子黒板を整備する費用として、6,000万円を増額いたします。

令和7年第4回取手市議会定例会議案の説明は、以上となります。

次に、「自治体初 カスハラ対策 窓口リアルタイムモニタリング」についてです。

「相談室」や「面談室」など、閉鎖的な空間で相談業務などを行う際に、個室での相談対応に心理的安全性を確保した環境整備として、AI音声認識に感情解析を同時活用

したリアルタイムにモニタリングを行う対面のカスハラ対策のテスト運用を開始いたしました。

個室での相談内容を、A I 技術の活用により可視化し、室外にいる職員が状況を把握できる環境を整備することで、相談対応職員へのカスハラ抑止やストレス軽減、対応品質の向上などを図ります。

テスト運用は、取手庁舎 2 階の市民協働課前相談室において、令和 7 年 1 1 月 1 8 日（火曜日）から 1 2 月 2 6 日（金曜日）までの期間で実施をいたします。

この音声認識と感情解析を同時に、リアルタイムにモニタリングを行う対面のカスハラ対策は、自治体初の取り組みとなっており、今後も A I 技術を活用して、業務効率化と住民サービスの向上を推進していきたいと考えております。

次に、「「そうぞうする団地」ラッピング列車が走ります」についてです。

U R 都市機構と取手アートプロジェクトのコラボレーションプログラムとして、井野団地と戸頭団地をテーマにした「団地ラッピング列車」が、1 2 月 1 日から関東鉄道常総線で走行を開始いたします。

この企画は、U R 都市機構が市内の団地の魅力再発見や情報発信の取り組みの一環として、井野団地と戸頭団地を

テーマに実施するものとなっております。

車体デザインについては、長年にわたって団地を舞台に取り組みを展開してきた取手アートプロジェクトがコーディネートを行い、団地での日常や創造の風景をモチーフとしたデザインを手がけました。

運行期間は、12月1日（月曜日）から、令和8年11月30日（月曜日）までの予定となっております。

取手駅から水海道駅を主とする区間を走る「団地ラッピング列車」によって、アートによる取り組みを展開してきた市内二つの団地の可能性を、市内外へ発信できればと考えております。

以上で、私からの説明を終わります。